



進路だより

福島県立いわき支援学校 進路指導部

第4号

令和4年9月16日 発行

小・中学部教員 進路ミニセミナー

7月13日に、小・中学部の教員を対象にした進路ミニセミナーを行いました。セミナーは、一般企業・就労相談支援A型事業所、B型事業所、生活介護事業所のグループに分かれて、高等部の教員を囲んで活発な情報交換の場となりました。前半は、高等部の教員からそれぞれの進路先の状況や進路学習の進め方等についての話がありました。後半は、参加された小・中学部の先生方が担当している児童・生徒をイメージしながら将来を見据えた進路指導の進め方などについて高等部の先生方と意見交換を行いました。

後半の意見交換では、「将来の生活をイメージしながら、小学部・中学部・高等部のそれぞれの段階でどのような力を身に付けるとよいか」、「できるだけ1人でできることを増やせるようにするための指導・支援の工夫」、「児童・生徒、保護者との共通理解の図り方や進路実現に向けて計画的に取り組むこと」など、様々な意見が交わされました。

当日のセミナーの様子



企業・施設見学会

7月28日(木)に小・中学部の教員を対象とした企業・施設見学会を、3つのコースに分かれて行いました。事業所によって、仕事内容や運営形態も様々で幅広いものでした。児童・生徒が、卒業までに身に付けるべき力や指導・支援のあり方について情報交換をしたり、実際に働いている方々の様子などを見て仕事内容や運営方針について理解を深めたりすることができました。大変充実した、見学会となりました。

Aコース(北部)

- ・せきれい(B型)
- ・ソーシャルスクエア(就労移行)
- ・ふわり(A型)

Bコース(中央部)

- ・じょうばん福祉作業所(B型)
- ・村田基準寝具(一般企業)
- ・つばさ(就労移行)

Cコース(南部)

- ・みなみテラス(B型)
- ・一歩(A型)
- ・虹のかけはし(就労移行)

見学会の様子



パソコンの解体



パンの製造と販売



革製品の作製と販売

第10回特別支援学校作業技能大会 報告

令和4年8月5日（金）に、郡山市のビッグパレットふくしまと郡山支援学校を会場に、第10回特別支援学校作業技能大会が開催されました。

この大会は、高等部の生徒が日頃の学習の成果を発表し、外部専門家から客観的な評価を受けて、卒業後の進路実現や自立と社会参加に向けた技能や意欲を高めることをねらいで開催されています。

作業検定部門には、「ビルクリーニング部門」「喫茶接客サービス部門」「PC データ入力部門」「店舗販売（品出し・パッケージ）部門」があり、本校からは10名の高等部生徒が参加しました。今回は、結果を報告します。

【検定部門の結果】

ビルクリーニング部門 (4名参加)	【ダスタークロスの部】 1級：3名 2級：1名 【モップの部】 1級：3名 3級：1名 【テーブルクロスの部】 1級：3名 2級：1名
喫茶接客サービス部門 (3名参加)	1級：1名 2級：2名
パソコンデータ入力部門 (3名参加)	7級：1名 8級：1名 9級：1名



【作業製品品評部門】

紙工製品部門	襖紙エコバッグ	最優秀品質賞
革工製品部門	三角小銭入れ	銀賞
	印鑑ケース	銅賞



第21回福島県障がい者技能競技大会ーふくしまアビリンピック2022ー

高等部3年生の渡邊稜人君が、7月9日に福島市で開催された第21回福島県障がい者技能大会へ出場し、ビルクリーニング部門で銅賞を受賞することができました。

「アビリンピックに出場して」 氏名 渡邊稜人

私は、第21回福島県障がい者技能競技大会に出場しました。私は今年から作業学習で、サービスワーク班の中にあるビルクリーニング班に所属しました。ビルクリーニング班は、清掃に関わる仕事の勉強をしています。練習で頑張ったことは、ダスタークロスをかける時に、壁や木の枠にぶつけないように丁寧にかけることを意識して取り組んだことです。アビリンピック当日は、とても緊張しましたが、作業学習で練習してきた成果を出し切ろうと最後まで集中して挑むことができました。その結果、銅メダルを取ることができました。とてもうれしかったです。今後の目標は、一般企業に就職することです。今まで学校で学んだことを生活や企業に向けての学習に生かしていきたいです。